

令和2年度 第3回 秋葉区自治協議会 会議概要（速報）

日時 令和2年6月26日（金） 午後1時から午後4時10分まで

会場 秋葉区役所6階 601・602会議室

出席者 【委員（名簿順）】

小林委員、蓮沼委員、阿部副会長、田中委員、佐々木(富)委員、湯田委員、松田委員、古田委員、青木委員、保科委員、佐藤委員、本多委員、前田委員、原委員、伊藤(美)委員、川名委員、佐々木(美)委員、伊藤(治)委員、荒井委員、長谷川委員、羽生委員、宮腰委員、金子会長、花水委員、伊藤(直)委員、島倉委員、大貫委員 計27名（欠席 渡邊委員、須田委員、本田委員）

【秋葉区役所】

区長、副区長（地域総務課長）、区民生活課長、健康福祉課長、産業振興課長、建設課長、小須戸出張所長、秋葉下水道分室長、秋葉消防署長、秋葉区教育支援センター所長、新津地区公民館長、新津図書館長、秋葉区農業委員会事務局長

事務局 地域総務課職員4名

傍聴者 5名

報道 2名

内容

1 開会

・会長あいさつ

3か月ぶりの開催となるが、地域づくりを停滞させるわけにはいかないので、委員で知恵を出し合い、前に進めていきたい。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により社会が急速に移り変わっていくなか、自治協議会の役割・使命を再認識し、活動に取り組んでいきたいとあいさつがありました。

・区長あいさつ

今後、新しい生活様式を取り入れて経済社会を回していく中で、今だからこそできることとして、区長による「秋葉区げんき！宣言（①みずからげんき！を出します②そのげんき！を広く発信します③多くの人をげんき！づけます）」のもと、自治の推進に欠くことのできない会議である自治協議会を再開させることによって、地域の各団体の活動も回復していくことを期待しているとあいさつがありました。

2 議事

(1) 第1回秋葉区自治協議会委員推薦会議の開催について（報告）

小林座長から、金津コミュニティ振興協議会から選出された新任委員選定の報告が行われました。

資料1 第7期 秋葉区自治協議会委員名簿
(裏面) 令和2年度 秋葉区関係管理職等一覧

(2) フレイル予防事業について

地域包括ケア推進課長から、東京大学高齢社会総合研究機構の提唱する「フレイルチェック」と市が従来から実施している健康教室などを組み合わせた生活習慣改善活動を促すフレイル予防事業について説明がありました。

フレイル予防事業では、養成講座を受講した地域の元気な高齢者をフレイルサポーターとして、理学療法士であるフレイルトレーナーの補助を受けながら、2種類のチェックシート（簡易チェック、深掘りチェック）を用いて、フレイル兆候をチェックし、6か月後に改善度合いを確認します。

今年度は新津第五中学校圏域で4回実施予定であり、回覧板で参加者を募集します。

委員からの予防が必要な人を集めることが難しいとの意見に対し、地域包括ケア推進課長からは、地域包括支援センター職員に参加してもらうなど関係機関とも連携して取り組んでいくと説明がありました。

(3) 区政運営にかかる評価について（参考意見聴取）

区長から、令和元年度秋葉区組織目標として設定した4つの目標は達成と評価し、その達成状況について説明がありました。

また、元年度の取り組みを踏まえて令和2年度の目標設定について説明についても説明がありました。

委員からは、学校・家庭・放課後デイサービス・放課後児童クラブをつなぐ「つながる支援ファイル」を活用してみて、大変実りあるものだと感じていると意見がありました。

資料3-1 区政運営にかかる評価について（参考意見聴取）
資料3-2 令和2年度 秋葉区組織目標

(4) 区ビジョンまちづくり計画の進捗等について

地域総務課長から、「秋葉区区ビジョンまちづくり計画 第3次実施計画」の令和元年度進捗状況について、138事業のうち127事業が目標を達成できており、未達成だった7事業は該当する申請が無かったことによるものであり、全体として概ね計画どおりに実施されたと説明がありました。

資料4 秋葉区区ビジョンまちづくり計画 第3次実施計画（令和元年度）進捗状況

(5) 秋葉区地区懇談会の開催について

地域総務課長から、秋葉区地区懇談会を7月2日（木）の新関コミュニティ協議会を皮切りに実施する予定で準備を進めていると説明がありました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症防止に配慮し、開催時間を短縮するなど対策を講じて地域課題に関する説明と意見交換を中心に行われます。

資料5 秋葉区地区懇談会の開催について

(6) 新型コロナウイルス感染症に関する取り組みについて

金子会長から、委員向けに4月に実施した新型コロナウイルス感染症の影響に関する緊急アンケートの結果を受けて、非常事態下の区民の声を拾い上げ、また、自治協として何ができるのか考えるため、区内のコミュニティセンターなどの施設に意見箱を設置すると説明がありました。

委員からは、広い世代の声を集めるため、SNSの利用や保育園などへの協力依頼なども検討したらどうかと意見がありました。

資料6 意見箱の設置について (回答)

(7) その他

ア 部会活動報告

(ア) 第1部会から、きらめきサポートプロジェクトの二次審査の結果、2団体を採択し、今後、2次募集を実施すると報告がありました。

(イ) 第2部会は本日が第1回目の部会となり、今年度の提案事業について検討を始めていくと報告がありました。

(ウ) 第3部会から、昨年度、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中断した後期あきは子ども大学について、状況をみながら実施について検討していきたいと報告がありました。

(エ) 広報部会から、かわら版あきはくはつものがたり25号を8月16日(日)に発行すると報告がありました。なお、回覧板による配布を新聞折込みに変更します。

資料番号なし きらめきサポートプロジェクト採択事業

イ 秋葉区教育ミーティングの開催について

秋葉区教育支援センター所長から、秋葉区教育ミーティングの開催について、例年夏に開催していましたが第1回目を中止にすると報告がありました。なお、第2回目は状況をみながら開催を判断すると説明がありました。

委員からは、学校休業の影響を教育ミーティングのテーマにしてはどうかと意見がありました。

資料番号なし 令和2年度 区教育ミーティングについて

ウ 秋葉公園の鹿について

建設課長から、秋葉公園の鹿の高齢化が進んでいることから、五泉市にお願いし、村松公園の若い鹿のつがいを譲っていただくことになったと報告がありました。

村松公園からの引っ越しから約一か月後、子鹿の誕生も確認でき、今後、この親子に親しみをもってもらうため、第一小学校に名前の募集を依頼しています。

資料番号なし 秋葉公園に新しい鹿が来ました (運搬作業～子鹿誕生記録)

エ 国道403号フラワーロードについて

建設課長から、地元団体・企業と区役所で構成する管理団体「フラワーロード

実行委員会」を設立したと報告がありました。

実行委員会では、これまでのように国道 403 号を菜の花・ひまわり・コスモスの季節の花で彩り、花のまちを PR していきます。

資料番号なし 国道 403 号フラワーロード実行委員会の設立と作業状況

3 閉会

副会長あいさつ

※詳細については、後日改めて掲載します。